

平成23年度の実施内容

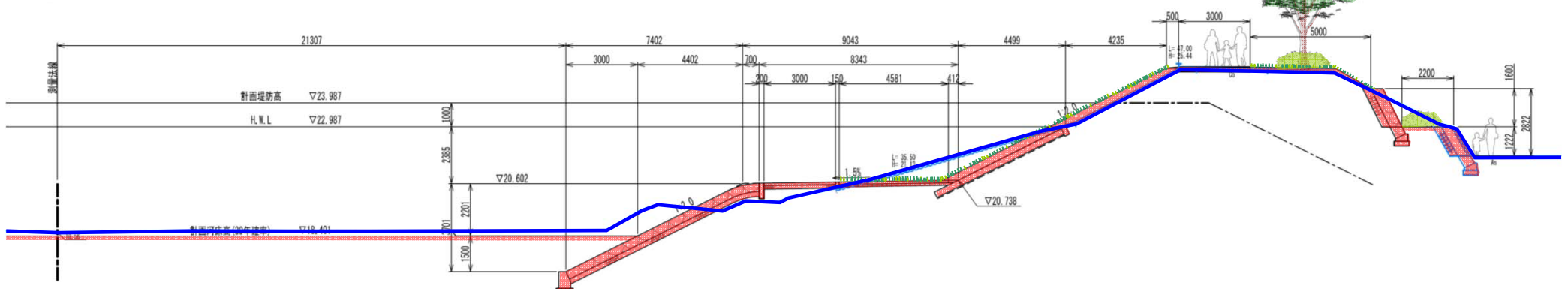
護岸詳細設計 L=3,700m (陶化橋～京川橋右岸)

◆横断計画の考え方

- ・ 周辺の土地利用から引き堤は困難であり、現況河道内で河積を確保する。
- ・ H.W.L. 及び計画堤防高は河川整備計画を踏襲する。
- ・ 高水敷きの連続性を確保する。
高水敷きの高さは一連区間の低水路水深が同じ高さとなるように、現況高さ程度で設定する。小枝橋付近は橋の下を通行できるよう概ね1m切り下げる。
- ・ 低水路の拡幅は片岸拡幅を基本とする。ただし、一部区間では左右岸のバランスを考慮し、両岸拡幅とする。
- ・ 低水路を拡幅する場合の護岸勾配は1:2.0を採用する。



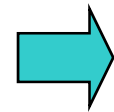
NO. 105 (5/250)
図18.55
Fig.



鴨川・高野川 中州等除去箇所を経年変化

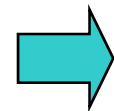
■平成21年度 施工箇所【除去後:H22.2.26 → 現在:H24.1.16】

①二条大橋～四条大橋 (御池大橋下流)



中州が若干着き始めているが、大きな変化は見られない。

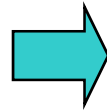
②賀茂大橋～出町橋、(高野川)～河合橋 (賀茂大橋上流)



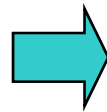
存置した中州が流出してい

中州が発達している。

③御菌橋～西賀茂橋（御菌橋上流）

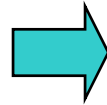


④高野橋～馬橋（松ヶ崎人道橋下流）

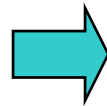


■平成22年度 施工箇所【除去後:H23.3.16 → 現在:H24.1.16】

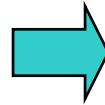
①丸太町橋～荒神橋（荒神橋下流）



②賀茂川通学橋～庄田橋（志久呂橋下流）

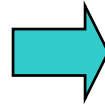


②賀茂川通学橋～庄田橋（志久呂橋下流）



存置した中州が発達し、みお筋は右岸側のみなっている。左岸側はたまりの状態。
※今年度一部箇所土砂掘削を実施

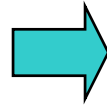
②賀茂川通学橋～庄田橋（志久呂橋上流）



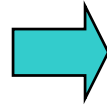
存置した中州が発達しているが、みお筋は左右岸とも維持されている。
※今年度一部箇所土砂掘削を実施

■平成23年度 施工箇所【除去前:H23.11.21→ 現在施工中:H24.1.16】

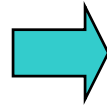
①出雲路橋～北大路橋（北大路橋下流）



①出雲路橋～北大路橋（出雲路橋上流）



②馬橋～松ヶ崎橋（松ヶ崎橋下流）



②馬橋～松ヶ崎橋（馬橋上流）

